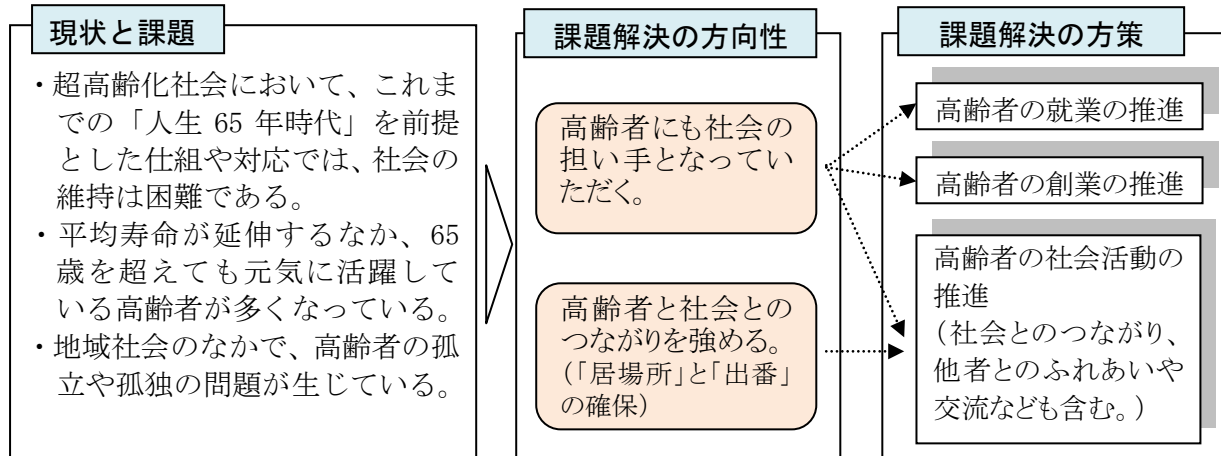


## 平成 25 年度第 2 回人生二毛作推進県民会議 意見交換の進め方

長野県健康長寿課 労働雇用課

第 1 回県民会議では、各機関・団体の現在の取組、課題等について情報交換を行いました。これに伴い、第 1 回会議資料 1 を別添のとおり修正すると共に、第 2 回県民会議（9 月 20 日）を以下のように行いたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

### 1 次の「高齢者の社会参加が必要となっている背景」を確認し、共通認識とします。



※高齢者の「就業」、「創業」、「社会活動」を併せて、高齢者の「社会参加」とする。

### 2 高齢者の社会参加を促進するための具体的な方策について意見交換をします。

- ① 高齢者の就業をさらに進めるためには何が必要か？（誰が、何をする）
- ② 高齢者の創業をさらに進めるためには何が必要か？（誰が、何をする）
- ③ 高齢者の社会活動をさらに進めるためには何が必要か？（誰が、何をする）

#### 〈考え方の視点〉

- (1) 自らの機関・団体の取組がさらに進むにはどうしたらよいかという視点でもよい。
- (2) (1) にこだわらず県全体、地域全体で進めるにはどうしたらよいかという視点でもよい。

意見交換は以下の方法で進めます。

- (1) 上記の①②③のテーマについて、自分が関係するまたは関心のある項目に対して、付箋に具体的な方策(提案・意見・アイデア等)を書いていただきます。(1 枚の付箋に 1 項目。議論を深めるために所属と氏名も記載します。)
- (2) 付箋を事務局が集めて模造紙上に整理していきます。
- (3) グループ化された項目ごとに、ファシリテーターのリードで議論を深めます。
- (4) 参加者全員で、自分が共感した事柄(意見)に、所属と氏名を記載した付箋を 1 枚ずつ貼ります。
- (5) なぜそこに投票したか、理由、感想等をコメントしてもらいます。
  - ・ファシリテーター：内山会長
  - ・参加者：県民会議委員、同幹事課職員

#### お願い

事前に具体的な方策に関する意見提出の必要はありませんが、第 2 回県民会議当日までに、上記 1 の「高齢者の社会参加が必要となっている背景」について確認していただくとともに、上記 2 の具体的な方策に関する意見や考えをまとめておいていただきますようお願いいたします。